

令和 8 年度大学図書館職員長期研修科目概要

1 研修概要

A 図書館マネジメント総論 7 科目 (7 コマ)

大学図書館を取り巻く経営的環境を把握するとともに、大学図書館マネジメントに関する知識を養う。

B 学術情報流通等各論 12 科目 (13 コマ)

学術情報に関する最新の知識を講義し、大学図書館サービスのあり方を考える。

C 演習・班別討議 17 コマ

企画立案・遂行力、コミュニケーション能力の向上を図るための講義・演習を行い、班別討議、発表を通してその実践を行う。

※これに加えて、受講者による情報交換の時間を設ける。各自の課題や問題意識に基づき、他機関の情報収集や意見交換等を行う。

2 科目概要

※概要説明の後に付した表は、当該講義で学習する知識・スキルおよび関連キーワードを示すものである。詳細は別紙「学習項目一覧」を参照のこと。但し、これは令和 8 年度に試行的に用いるものであり、各講義での扱いは担当講師の構成や進め方により異なる。

A 図書館マネジメント総論

(1) 大学経営の課題

大学図書館の活動は、あくまでも大学経営の一部として捉えられなければならない。大学図書館経営の背景となる大学経営について講義する。

2101	大学経営と大学図書館	大学財政、予算管理、資金配分、政策動向、経営戦略、助成金、寄付、外部資金、予算獲得
1201	大学図書館関係法規・基準	図書館法、大学設置基準、制度、政策

(2) 大学と大学図書館

大学や大学図書館を取り巻く現状や今後の方向性について、ステークホルダーとの関係や政策的視点から講義する。

1101	大学図書館の役割と社会的価値	大学と大学図書館、高等教育政策、科学技術政策、公共性、ミッション
1102	大学図書館をとりまく最新動向と今後の展望	高等教育政策、科学技術政策、ビジョン、課題、展望

(3) 国立大学図書館の現状と課題

国立大学図書館の管理・運営を担う管理職の立場から、今日の大学図書館が抱えている重点課題を取り上げ、その解決に向けた取組みなどについて講義する。

2103	大学図書館の管理運営	組織運営、人事、業務管理、危機管理、計画策定
1101	大学図書館の役割と社会的価値	大学と大学図書館、高等教育政策、科学技術政策、公共性、ミッション
1102	大学図書館をとりまく最新動向と今後の展望	高等教育政策、科学技術政策、ビジョン、課題、展望

(4) 私立大学図書館の経営

私立大学図書館の経営について、アウトソーシング、予算獲得、サービスの展開等について事例をもとに実際の観点から講義する。

2103	大学図書館の管理運営	組織運営、人事、業務管理、危機管理、計画策定
2101	大学経営と大学図書館	大学財政、予算管理、資金配分、政策動向、経営戦略、助成金、寄付、外部資金、予算獲得
1102	大学図書館をとりまく最新動向と今後の展望	高等教育政策、科学技術政策、ビジョン、課題、展望

(5) 大学評価と大学図書館

国・公・私立大学（短期大学を含む）は、7年以内ごとに、認証評価機関の実施する評価を受けることが義務付けられている。その評価の実際と大学図書館がどのように評価に寄与すればよいかを考える。

1202	大学評価制度の概要と図書館との関わり	認証評価、大学評価、図書館評価、質保証、政策
1201	大学図書館関係法規・基準	図書館法、大学設置基準、制度、政策
2101	大学経営と大学図書館	大学財政、予算管理、資金配分、政策動向、経営戦略、助成金、寄付、外部資金、予算獲得

(6) 大学図書館職員の新たな役割

日本及び海外大学図書館における図書館職員の役割、その特徴や問題点、今後の新たな役割や将来像、展望などについて講義する。

1103	これからの大学図書館職員に求められる専門性	専門性、キャリア開発、人材育成、職員の役割、サブジェクトライブラリアン
1102	大学図書館をとりまく最新動向と今後の展望	高等教育政策、科学技術政策、ビジョン、課題、展望
1101	大学図書館の役割と社会的価値	大学と大学図書館、高等教育政策、科学技術政策、公共性、ミッション

(7) 図書館経営学

経営戦略やマーケティング等の経営学の基礎知識、また、それらを図書館に適用する場合の特性を講義し、大学図書館経営のあり方について考える。

2102	大学図書館の経営	運営方針、ビジョン、指標、KPI
------	----------	------------------

2101	大学経営と大学図書館	大学財政、予算管理、資金配分、政策動向、経営戦略、助成金、寄付、外部資金、予算獲得
2103	大学図書館の管理運営	組織運営、人事、業務管理、危機管理、計画策定

B 学術情報流通等各論

(1) 国立情報学研究所の取り組み

国立情報学研究所の推進する様々な事業の中から、大学図書館と関わりの深い、オープンアクセス・オープンサイエンス普及の取り組みや、これからの学術情報システム構築等について講義する。

4202	オープンアクセス、オープンデータの政策・動向	国際動向、研究資源、方針策定
4104	所蔵資料の電子化公開・デジタルアーカイブ	デジタル化、公開方針、著作権、IIIF
4206	機関リポジトリの構築・運用・活用促進	オープンアクセス、メタデータ、システム運用、学術成果、研究データ管理

(2) 利用者の情報行動

情報行動論の基礎的知識、教員や学生の情報行動の具体例、情報行動に配慮した図書館サービスのあり方などについて講義する。

3301	利用者の情報行動	情報行動、検索行動、情報ニーズ、利用パターン、行動分析、データ収集、サービス改善
3101	学生の学習行動と学習メカニズム（学習理論）	学習理論、認知科学、学習支援、行動分析、教育心理、学修行動、能動的学習、教育手法、協働学習、授業設計、アクティブラーニング
3201	研究活動と研究ライフサイクル	研究計画、データ管理、成果公開、研究評価、学術情報流通

(3) 学術コミュニケーションの動向

近年の電子情報資源への急速な移行や、機関リポジトリ、オープンサイエンス等の動向を踏まえ、今後の学術コミュニケーションのあり方や展望について講義する。

4201	学術情報流通の構造と最新動向	出版動向、電子化、オープンサイエンス、研究評価
4202	オープンアクセス、オープンデータの政策・動向	国際動向、研究資源、方針策定
4203	電子ジャーナル・データベース・電子ブックの契約・調達・管理	契約管理、ライセンス、アクセス制御、出版者交渉、転換契約

(4) 大学図書館と研究支援（2コマ）

大学図書館は大学の研究活動にどのように貢献できるのか、学術情報流通の動向や海外の事例等から、その可能性を探る。加えて、研究推進に携わる現場の教職員からの事例報告や意見交換等を通じて理解を深める。

3201	研究活動と研究ライフサイクル	研究計画、データ管理、成果公開、研究評価、学術情報流通
3203	研究データ管理（RDM）支援	データ・マネジメント・プラン、メタデータ、FAIR 原則、オープンサイエンス、リポジトリ
3202	研究助成金・競争的資金に関する知識と申請支援	助成金、資金申請、研究費管理、競争的資金、申請支援
3204	研究評価指標とその動向	インパクトファクター、オープンアクセス、評価指標、研究評価、指標分析
3205	研究支援活動の実際（事例）	先進的な事例（例：サブジェクトライブラリアン、AI など）
2203	学内他部署との連携・協働	学内連携、情報共有、共同プロジェクト、業務効率化、組織間協働

(5) 大学図書館に期待するもの

大学教員としての立場から、研究手法、研究資料の収集・活用方法、学生の指導方法等について述べると共に、大学教員が求める図書館、資料、図書館のあり方について講義する。

5201	図書館 DX と AI 活用	DX、AI、自動化、データ分析、RPA
1101	大学図書館の役割と社会的価値	大学と大学図書館、高等教育政策、科学技術政策、公共性、ミッション
1102	大学図書館をとりまく最新動向と今後の展望	高等教育政策、科学技術政策、ビジョン、課題、展望

※当科目で扱うテーマは講師により異なる。上記は令和8年度の予定。。

(6) 大学図書館の学習支援

大学図書館の学習支援のあり方について、大学での学習の変化をふまえた上での情報リテラシー教育の検討、授業と図書館利用の関連付け、教員との連携などについて講義する。

3102	情報リテラシー教育・講習会	情報検索、批判的思考、ICT 活用、教育プログラム、図書館講習
2202	教員との連携・協働	教職協働、教材開発、授業支援、研究支援、協働体制
3106	教育・学習支援活動の実際（事例）	先進的な事例（例：サブジェクトライブラリアン、AI など）

(7) アクティブラーニングの手法

教育の現場では、アクティブラーニング（能動的学習）への転換が大きな話題となっている。実際にアクティブラーニングを体験し、その概略を知ることで、教員や学生への支援のあり方を考える。

3101	学生の学習行動と学習メカニズム（学習理論）	学習理論、認知科学、学習支援、行動分析、教育心理、学修行動、能動的学習、教育手法、協働学習、授業設計、アクティブラーニング
3102	情報リテラシー教育・講習会	情報検索、批判的思考、ICT 活用、教育プログラム、図書館講習

(8) 誰もが利用しやすい図書館を目指して～障害のある学生・教職員への支援

図書館の資料・サービス・施設を利用することが障害等により困難な学生・教職員に対して、それらの障壁を取り除くにはどのような配慮をすべきか、制度面、実際面から講義し、誰もが利用しやすい図書館づくりについて考える。

3302	誰もが利用しやすい図書館サービス	インクルーシブサービス、障害者支援、多文化対応、利用者ニーズ、サービス改善、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ、施設設計、利用者支援、バリアフリー、読書バリアフリー
5104	多様なあり方・考え方の理解と尊重	ダイバーシティ、インクルージョン、多様性受容力、認知的柔軟性

(9) 民間企業の取り組み

大学図書館運営に関連する民間企業等の最新の取り組みや、図書館運営の効率化、サービス向上の参考となる民間企業等の経営戦略・経営手法について講義する。

4201	学術情報流通の構造と最新動向	出版動向、電子化、オープンサイエンス、研究評価
2102	大学図書館の経営	運営方針、ビジョン、指標、KPI

※当科目で扱うテーマは講師により異なる。上記は令和8年度の予定。。

(10) 新技術を活用した新たな図書館サービスの可能性

最新の情報通信技術を活用した新たな図書館サービスの事例を学ぶことにより、これからの時代の図書館サービスのあり方や可能性について考える。

4104	所蔵資料の電子化公開・デジタルアーカイブ	デジタル化、公開方針、著作権、IIIF
------	----------------------	---------------------

※当科目で扱うテーマは講師により異なる。上記は令和8年度の予定。。

(11) 図書館等における紙資料の保存と継承

大学図書館における紙資料の保存方法や利用上必要な配慮などについて講義する。

4102	資料の保存・修復	保存技術、修復方法、劣化防止、アーカイブ、長期保存、環境管理
------	----------	--------------------------------

(12) 大学図書館と著作権

大学図書館活動に関する著作権法の基本的な考え方、また、インターネットの普及や学術情報流通の変化に伴う新たな動きと今後の方向性、展望などについて講義する。

1203	著作権法とその図書館実務への適用	著作権、公衆送信、AIと著作権、実務適用
------	------------------	----------------------

C 演習・班別討議

1 演習

ワークショップ形式の演習を通して現状分析や企画書の作成に関する手法や知識を習得するとともに、組織をまとめるリーダーに求められる役割の理解を深め、コミュニケーション力の強化を図り、環境変化に対応した新たな取り組みを企画・実践する力を身につける。

5101	課題対応能力	問題解決、分析力、企画力、判断力、実務対応
5102	対人関係能力	コミュニケーション、交渉、協働、表現力、チームワーク
5103	リーダーシップと人材育成	マネジメント、組織運営、指導力
5104	多様なあり方・考え方の理解と尊重	ダイバーシティ、インクルージョン、多様性受容力、認知的柔軟性
5201	プレゼンテーションの技術	資料作成、話し方、視覚化、説得力

2 班別討議

将来的に大学図書館等の運営の中核を担うために必須となる広い視野を身につけることを目指し、大学図書館を取り巻く環境や期待される役割等の変化に対応するための取り組みについて討議する。具体的な取り組みの実践を念頭に討議を進めた上で全体発表を行い、複数の視点から講評を受ける。

5101	課題対応能力	問題解決、分析力、企画力、判断力、実務対応
5102	対人関係能力	コミュニケーション、交渉、協働、表現力、チームワーク
5103	リーダーシップと人材育成	マネジメント、組織運営、指導力
5104	多様なあり方・考え方の理解と尊重	ダイバーシティ、インクルージョン、多様性受容力、認知的柔軟性
5201	プレゼンテーションの技術	資料作成、話し方、視覚化、説得力